TOCO-TON 明科

No. 47 R8. 10. 28 発行
TOCO-TON 指導主事
竹内　幸浩

1　明北小運動会『昨日の自分を超えてゆけ 仲間とつかむ最高の時！』10 月 17 日（土）

開会





円になってオープニング







全校縦割りリレー









児童 VS 保護者　全校綱引き









フエも児童



閉会



閉会の言葉（児童会長）

皆さん　各競技、昨日の自分に負けないくらい、全力で突き進めましたか？私には、みんなが練習を始めた時よりも、リレーが速くなったり、ダンスを上手に踊れたりする姿が、とてもかっこよく見えました。頑張って練習してきたことが、一人一人の姿から伝わってきました。だからこそ、勝った時には、うれしいと思い、負けた時には、悔しいと思うのだと思います。

でも、頑張った自分とライバルがいなければ、この気持ちを味わうことはできません。スローガンにある「最高の時」とは、全力を出し切ったことで、「成長した自分」に出会えた今この瞬間だと思います。これからの学校生活で大変なことがあったとしても、運動会に向けて頑張ったことを思い出し、みんなで乗り越えていきましょう。

保護者の皆様。今日は、大きな声援、競技へのご参加などの、ご協力を本当にありがとうございました。これからもみんなで協力し、一人ひとりが主役である明北小をみんなでつくっていきます。引き続き、ご協力よろしくお願いします。

これで令和８年明北小学校運動会を閉会します。

＜運動会前日の　６学年だよりから「児童主体の運動会」＞

さぁ！いよいよ明日が運動会当日です。明北小の子どもたちは、運動会を自らデザインし、実施しようとしています。いつも同じようなことを書いていますが、これは普通ではありません。ほとんどの学校は、教員が運動会を計画し、その計画に合わせて児童が活動します。もちろん児童が活躍するように、開会式や閉会式での役割、前日準備、ダンスの練習を６年生が中心になって進行をするなどの場を設けて、運動会を実施することが多いです。どの方法も教員が発信する計画から全てが始まります。この方法はとにかく見通しがもちやすく、計画的に物事が進むため職員も児童も毎年変わらないので安心感がありました。

しかし、明北小の６年生は「そもそも運動会はやるのか？」「どんな運動会にしたいのか？」「やるなら、どんな種目が必要なのか？」「運動会をするためには、どんな係が必要なのか？」といった具合に、これまでの経験を基に１から考えました。すると、子どもたちにとって運動会の全てが自分事となります。だから、大変だなと思うことがあっても粘り強く取り組み、仲間と協力することで解決する姿がありました。子どもたちの振り返りを見ると、運動会に向けて「準備してきたことが運動会でできるようにがんばりたい」「緊張しているけど楽しみ、運動会を成功させたい」「勝ち負けはあるかもしれないけど、楽しく終わりたい」など、「練習の成果を発揮し、思い出に残る運動会にしたい！」という目標通りの姿になっているなと思いました。見通しのもちにくさがある中、不安を常に抱えながら一歩ずつ明北小の６年生は前に進んできました。そして明日の運動会を迎えます。

そんな６年生の、小学校生活最後の運動会での雄姿を見届けていただければと思います。今日に至るまで、本当にありがとうございました。

＜５学年児童　運動会の振り返りから「チャレンジして新しい自分に出会う」＞

運動会の練習が始まった頃は、疲れたな、嫌だなという気持ちがあり、やる気がなかったけど、練習を重ねていくと仲間と協力することや、新しいことができるようになることが楽しいと感じ、もっとやりたいなと思うようになりました。休み時間も毎日練習を続けてきて、休み時間をずっと練習に使ってきて、疲れたという気持ちがドンドン出てきたけど、もっとやりたかったなと思うようになり、係の仕事（計画も運営も児童が主体）などで練習に行けなかったときは、行きたかったな、やりたかったなと言う気持ちがたくさん出てきました。

運動会本番はたくさん練習してきたから楽しいと感じ、勝ったときは嬉しい、負けたときは悔しいと感じました。係でもしっかり次の行動を考え、進んでみんなの前に出て行動しました。競技中は練習してきた成果を発揮して、今までで一番いい動きをしたいなと何度も思いました。

運動会が終わった今は、やりきった感がすごくあり、４年生のときはやらなかった新しい競技もやったので新しいことに挑戦できてすごく私は幸せだなと感じました。

新しいことにチャンレンジすることは新しい自分に出会うことにもつながるので、チャレンジしてよかったなと感じています。

悔しい、嬉しいという気持ちは同じ仲間やライバルがいないと感じることができないと改めて感じました。これからもこの気持ちを大切にしていきたいです。

来年やりたいことは、総合で考えた、障害物競争や、パン食い競争、騎馬戦や竹取という新しいことにチャレンジしたいです。授業で考えたことを実際にやってみると新しい考えが生まれるのでやってみたいと思いました。

また、自分が頑張っているときに「がんばれー！」と本番で応援されました。そのときはものすごく嬉しくて、なぜか力がすごく湧いてきました。応援はすごく大切なことなんだと思いました。私もみんなを応援できる人になりたいと感じました。なので、来年はみんなを応援して、会場を盛り上げるサポーターをまたやりたいと思いました。

そして最初は嫌だと思っていたことも練習してチャレンジしてみると、すごく楽しいと感じるので、最初から決めつけず、まずは楽しんでやってみればいいと今年の運動会でわかったので、今年でわかったこと、だめだった部分と良かった部分を来年の運動会にいかしたいと思います。